

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 4 区分
【発行日】 令和 7 年 4 月 18 日 (2025.4.18)

【国際公開番号】 WO2024/189811
【出願番号】 特願 2025-506343 (P2025-506343)
【国際特許分類】
H 0 2 M 7/48 (2007.01)
H 0 2 M 7/06 (2006.01)
【F I】
H 0 2 M 7/48 Z
H 0 2 M 7/06 Z

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 2 月 13 日 (2025.2.13)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0006
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0006】

20

本開示に係る電力変換装置は、半導体素子と、電子回路部品と、前記半導体素子および前記電子回路部品の同一極性端子を同軸線路の外側で導通する外部導体と、前記半導体素子および前記電子回路部品の他の同一極性端子を同軸線路の内側で導通する内部導体と、前記外部導体と前記内部導体の間に設けられた絶縁体と、を有する、磁束の発生を抑制しながら大きな電流を流すことができる同軸バスバーとを備える。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

半導体素子と、
電子回路部品と、
前記半導体素子および前記電子回路部品の同一極性端子を同軸線路の外側で導通する外部導体と、前記半導体素子および前記電子回路部品の他の同一極性端子を同軸線路の内側で導通する内部導体と、前記外部導体と前記内部導体の間に設けられた絶縁体と、を有する、磁束の発生を抑制しながら大きな電流を流すことができる同軸バスバーと、
を備える電力変換装置。

40

【請求項 2】
前記電子回路部品がフィルタコンデンサである、
請求項 1 に記載の電力変換装置。

【請求項 3】
前記電子回路部品が高周波トランスである、
請求項 1 に記載の電力変換装置。

【請求項 4】
前記同軸バスバーの前記外部導体が円筒状であり、前記内部導体が円柱状である、
請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電力変換装置。

【請求項 5】

50

前記同軸バスバーの前記外部導体が円筒状であり、前記内部導体が平板状である、
請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電力変換装置。

【請求項 6】

前記同軸バスバーの前記外部導体が円筒状であり、前記内部導体が絶縁された複数の円柱からなる、

請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電力変換装置。

【請求項 7】

前記同軸バスバーの前記外部導体が円筒状であり、前記内部導体が絶縁電線からなる、
請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電力変換装置。

【請求項 8】

前記同軸バスバーの前記外部導体が冷却フィンを備える、
請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電力変換装置。

【請求項 9】

前記同軸バスバーの前記外部導体の端子と前記内部導体の端子を絶縁スペーサにより連結する、

請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電力変換装置。

【請求項 10】

前記同軸バスバーの前記絶縁体が、前記絶縁スペーサにより設けられた空隙による空気絶縁であることを特徴とする、

請求項 9 に記載の電力変換装置。

10

20

30

40

50